

平成 29 年度 (2017 年度)

# 公益財団法人蘭島文化振興財団

## 事業計画 (案)

### 1 事業運営の基本方針

地域文化の振興を目指した諸事業を行うとともに、地域文化に関する教育普及活動の推進を図り、もって呉市民の文化振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

### 2 定款に定める事業

- (1) 蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業
- (2) 昆虫の家における自然環境保全啓発事業
- (3) 松濤園における芸術文化振興事業
- (4) 白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 3 事業の詳細

公益目的事業 1 「蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業」

#### (1) 展覧会事業

##### 【特別展】

蘭島閣美術館	春季特別展 「新見美術館所蔵 富岡鉄斎—その軌跡と魅力—」 日本の近代を代表する文人画家・富岡鉄斎の作品を中心に紹介する。 天保 7 (1836) 年京都に生まれた鉄斎は、南画や文人画、浮世絵など様々な流派の絵画を学び独自の画境を開拓するとともに、詩文や書画を嗜み、在野の文人としても活躍した。本展では、鉄斎の軌跡を新見美術館のコレクションから紹介し、あわせて鉄斎と交流を持った人物や同時期に活躍した画家たちも紹介する。また明治から昭和にかけて鉄斎に魅せられ南画を意識した作品制作を行った画家たちにもふれ、鉄斎が後世の画家たちに与えた影響を探る。
--------	--

”	<p>秋季特別展</p> <p>「日本画山脈 再生と革新～逆襲の最前線」</p> <p>戦後から現在まで続く日本画壇の潮流を幅広く俯瞰することを目的に、主に伝統的な「写生観」を共有する具象系の作家たちを選び、三つのテーマに沿ってそれぞれの系統性を踏まえて紹介する。「戦後日本画の再生」では、東山魁夷ら七人の巨山を中心に紹介。「現在の巨匠」では、戦後の流れを受けて花開いた現在の巨匠たちを、「新世代日本画」では、具象の系統に連なる新世代の作家たちを紹介する。戦後から現在に続く日本画の伝統と革新の系譜を描き出し、日本画表現の現在地点を紹介する。</p>
---	---

### 【所蔵品展】

蘭島閣美術館	「蘭島閣美術館コレクション 海と生活（前期）」、「蘭島閣美術館コレクション 海と生活（後期）」、「絵画旅行—世界を旅した作家たち—」、「冬のよそおい—白色の美」、「花と自然」
蘭島閣美術館 別館	「寺内萬治郎の歩み（2）」、「寺内萬治郎の油彩画を中心に」、「寺内萬治郎と森清治郎」、「寺内萬治郎の小品」
三之瀬御本陣 芸術文化館	「須田国太郎と同年代の画家たち」、「須田国太郎と水墨画／墨による表現」、「須田国太郎—花・鳥・動物—／動物・花鳥画の世界」、「須田国太郎の世界」、「須田国太郎と昭和の前衛油彩画家たち」、「須田国太郎の風景画を中心に／画家たちが見た風景」

## （2）教育普及事業

### 【講演会・教室等】

海や山などに囲まれ、恵まれた自然環境を生かし、市民が気軽に学習、制作活動に参加できるワークショップ・講座等を開催する。

### 【地域連携プログラム】

市内教育・文化 施設等	<p>「芸術文化普及事業」【自主事業】</p> <p>絵画作品の無償提供を受け、教育・文化施設又は福祉施設などの公共施設を中心に絵画の貸し出しを行い、市民や児童・生徒が芸術作品に触れる機会を提供することで、芸術文化の普及を図る。</p>
----------------	--

## 【ギャラリーコンサート】

<p>蘭島閣美術館</p>	<p>美術館という特別な環境の中でクラシックコンサートを開催し、美術と音楽という異なる種類の芸術を同時に楽しんでもらうことにより、芸術に対する一層の意識の向上を図って行く。</p> <p>4月15日 店村真積（ヴィオラ） 小山京子（ピアノ）</p> <p>5月20日 曾根麻矢子（チェンバロ）</p> <p>6月17日 福田進一（ギター）</p> <p>7月15日 澤畑恵美（ソプラノ） 調整中（ピアノ）</p> <p>8月19日 高木綾子（フルート） 調整中（フルート） 津野田圭（ピアノ）</p> <p>9月16日 渡辺玲子（ヴァイオリン） 調整中（ピアノ）</p> <p>10月21日 コルネリア・ヘルマン（ピアノ）</p> <p>11月18日 名取裕子（朗読） 調整中（三味線）</p> <p>12月16日 小山実稚恵（ピアノ）</p> <p>1月20日 岡本侑也（チェロ） 調整中（ピアノ）</p> <p>2月17日 今井仁志（ホルン） 調整中（ピアノ）</p> <p>3月17日 南紫音（ヴァイオリン） 調整中（ピアノ）</p>
<p>〃</p>	<p>ギャラリーコンサートに関連し、次の事業を開催する。</p> <p>「コンサート講演会」【自主事業】</p> <p>コンサートに関する講演会を開催し、クラシックコンサートに対する理解を深めてもらう。</p>
<p>市内小学校等</p>	<p>ギャラリーコンサートに関連し、次の事業を開催する。</p> <p>「ミニコンサート」【自主事業】</p> <p>ギャラリーコンサート出演者の協力を得て、学校等においてクラシックコンサートを行い、子どもたちの豊かな感性を育てていく。</p>

### （3）収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立てて行く。

## 公益目的事業2「昆虫の家における自然環境保全啓発事業」

### (1) 展覧会事業：

地域の自然環境保全や生物保護への意識向上に資するため、昆虫標本や、生き物をモチーフとした美術品等の鑑賞機会を提供する。

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

「ふれあい海岸教室」【自主事業】及び「ふれあい昆虫教室」【自主事業】  
市民が気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。特に、下蒲刈島の豊かな自然に触れ、身近な生物である昆虫あるいは貝や海藻の観察や採集を通して、生命の尊さや自然環境保護の重要性について学び、豊かな感性を養って行く。

#### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、環境教育の普及に努めると共に、児童・生徒の環境保全活動に対する支援を行って行く。

## 公益目的事業3「松濤園における芸術文化振興事業」

### (1) 展覧会事業

#### 【所蔵品展】

松濤園	朝鮮通信使資料館：「もてなしの心—江戸時代の饗応」、「平和の使者 朝鮮通信使」、「善隣友好—御馳走一番館所蔵名品展—」、「馬上才—海外からの曲芸師」、「もてなしの料理—平和を願う料理」 陶磁器館：「花の彩り」、「やきもののふしぎ」、「光彩奪目—古伊万里名品展—」、「技を伝える—陶芸の人間国宝たち／古伊万里名品展」、「吉祥文、宝探しの愉しみ—幸福を願う器」
-----	---

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

市民や子供たちが気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。

### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、児童や生徒に対する文化の向上に努めると共に、地域が培ってきた伝統文化の継承を進めて行く。

### 【地域に息づく歴史と文化を普及啓発する事業】

「朝鮮通信使再現行列」(平成 29 年 10 月 15 日)

地域の歴史の掘りおこしと日韓友好への一助を目的に、江戸時代の善隣友好使節団「朝鮮通信使」行列の再現を行う。行列の参加者は広く地域住民に求め、地域振興の一環として実施する。

「秋のお茶会」(11 月上旬) と「春の梅見茶会」(2 月中旬)

松濤園の日本建築と瀬戸内の自然を借景に取り込んだ日本庭園を活用した茶会を催し、茶道という日本の伝統文化の継承に努め、併せて地域文化の向上に努めて行く。

### (3) 収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、地域の歴史と美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立てて行く。

## 公益目的事業 4 「白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業」

### (1) 展覧会事業

広く芸術文化(主に体験型の日本文化)の振興に資するため、美術品や建築等の展示を行うと共に、地域に根付く日本文化の体験機会を提供して行く。

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

松籟亭	「茶道教室」(毎月 2 回) <b>【自主事業】</b> 武家茶である上田宗箇流による茶道教室を開催し、広島県の伝統文化の継承を図る。
-----	--

### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、体験学習の普及に努める共に、児童・生徒の日本の伝統文化に対する理解を深めて行く。